

2/11 第3回「太陽系大航海時代に向けて」 講師：JAXA教授 川口淳一郎氏



34年前の「はやぶさ」開発のきっかけから始まり、「はやぶさ」の成果と「はやぶさ2」の最新情報、さらに小惑星サンプルリターンを行う意義や、その次に目指していることから、100年後の宇宙ビジョンとして、月面基地の建設と人類の移住、そして太陽系で資源開発が始まり、人類が資源を求めて宇宙と地球を往復する時代がやってくるとお話をされていました。

私たちが目にしていく「はやぶさ2」の華々しい成果はゴールではなく、ずっと先のことに繋がる道程の通過点なのです。夢物語のような100年後のビジョンですが、高柳先生や藤本先生の話の思い返すと、いつの間にか現実の事になっているのかもしれない。



各回、講演後に当会理事とのトークセッション、宇宙の学校等での教材を紹介しました。



KU-MA 10周年記念事業  
おとなの宇宙の学校  
-宇宙への大きな夢-

KU-MA設立10周年を記念して、おとなの「宇宙の学校」を開催いたしました。おとなの宇宙の学校は国分寺市の主催で3年前から実施していましたが、初めてKU-MAの自主事業として開催することができました。  
ご参加のみならず、ご講演くださった講師の方々、そして、開催にご協力いただいた東京四谷理科実験クラブのみならず、会場としてご協力いただいた新宿区立四谷小学校さま、すべての皆様により感謝申し上げます。

12/22 第1回「宇宙が拓く科学の未来」講師：KU-MA理事 高柳雄一氏

人類が古代から夜空を見続けて、星の並びを結んで星座を作りだし、天動説から地動説へと長い時間をかけて知識を蓄えながら科学が発達して、現在に至っています。科学が発達した現在、宇宙に存在する物質のうち、人類が知っているものは5%に過ぎず、知らない事は、まだまだたくさんあります。科学に終わりはなく、分からない事を分かっていくのが大事だとお話をされました。宇宙まで行けるようになった我々が天動説と聞くと、非科学的な事と思ってしまうかもしれませんが、それも含めて、現代の科学の発展は、古の人々から続く営みの延長線上に成り立っているのだと感じました。

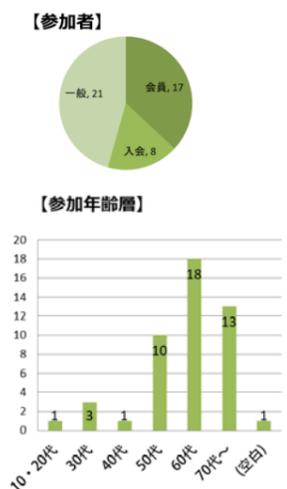


1/14 第2回「重力波と宇宙」 講師：国立天文台名誉教授 藤本真克氏

アインシュタインからの最後の宿題と言われた重力波は、100年前に存在が予言され、世界中の研究者が観測に挑み続け、2016年にアメリカの「LIGO」が初めて検出に成功しました。藤本先生は、大学院時代から検出装置の開発に携わってこられた方です。講演では、重力波の基本的なことから、日本や海外での検出装置の開発の歴史や装置の仕組み、そして日本で建設している大型の検出器「KAGRA」について、丁寧に解説していただきました。重力波という言葉を知ったことがあっても、長い時間をかけて研究されてきた事を初めて知った方が多かったのではないのでしょうか。この研究が、花開く時が来ているのだと強く感じました。



3回目の開催終了後、会員限定で懇親会を開催いたしました。ご講演いただいた藤本先生と川口先生も参加してください、楽しいひと時を過ごしました。これからも会員の皆様に参加できる企画を考えていきたいと思います。



参加者からお寄せいただいたご意見を紹介します(抜粋)

- とても濃い内容でフワフワした宇宙の情報を現実的な視点で把握できたので面白かったです。
- ロケット教材の製作が簡単に行えることがわかって面白かったです。
- 期待していたよりも楽しかった。とても素晴らしく大満足・・・など

また参加したい、ぜひ来年も開催してほしいのご意見も多数お寄せいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。

KU-MA 10周年記念事業  
おとなの「宇宙の学校」アンケートから



▲第3回 講師：並木 道義 KU-MA 会長  
▲第2回 国立極地研究所 南極・北極科学館 見学  
▲第1回 講師：橋田 元氏 国立極地研究所 准教授

国分寺市主催 おとなの宇宙の学校 『南極から探る宇宙』

今年3年目の国分寺市「おとなの宇宙の学校」は、『南極から探る宇宙』をテーマに開催いたしました。ご参加くださったみなさまありがとうございました。

第1回は「宇宙に最も近い場所、南極」と題して、国立極地研究所の橋田先生のお話からスタートしました。はじめに昭和基地内部を撮影した動画や隊員の方々の生活、南極で働く方々の紹介まで、映像を交えてのお話は、まるで基地内を見学しているように引き込まれていきました。その後、オーロラがなぜできるのか、形や色は？、なぜ南極でたくさんの隕石が見つかるのかなど・・・大変興味深い内容であったという間に時間が過ぎていきました。

第2回は、雪まじりの予報の中、東京都立川市にある国立極地研究所 南極・北極科学館の見学。橋田先生が展示物について解説していただきました。

第3回は、気球実験で南極観測隊員として参加した並木会長のお話です。南極での実験のことと、小惑星探査機はやぶさ2の最新情報について、2つのお話がありました。

1回と3回目には、講演に加え、子どもたちと楽しむための教材として、身近な材料でできる教材を紹介しました。参加の方から『施設見学時、非常に分かり易い丁寧な説明をしてもらったので、初心者でも理解しやすかった。』『南極、気球観測、はやぶさ2について理解が深まった。』『教材を家に帰ってから楽しんだ』など、感想が寄せられていました。